

表1 平成17年度ダイオキシン類に係る環境調査結果(総括表)

〔 単位：大気 pg-TEQ/m³
 水質 pg-TEQ/L
 底質 pg-TEQ/g
 土壌 pg-TEQ/g 〕

環境媒体	調査の種類 又は地域分類 (水域群)	地点数	検体数	環境基準 超過 地点数	調査結果		
					平均値	最小値	最大値
大気	全体	825 (898)	#### (####)	1 (-)	0.052 (0.051)	0.0039 (0.0039)	0.61 (0.61)
	一般環境	628 (661)	#### (####)	1 (-)	0.051 (0.051)	0.0045 (0.0045)	0.61 (0.61)
	発生源周辺	165 (203)	569 (625)	0 (-)	0.055 (0.053)	0.0039 (0.0039)	0.38 (0.48)
	沿道	32 (34)	116 (120)	0 (-)	0.054 (0.053)	0.018 (0.017)	0.11 (0.11)
公共用 水域 水質	全体	####	####	39	0.21	0.0070	5.6
	河川	####	####	37	0.24	0.0070	5.6
	湖沼	89	107	2	0.18	0.012	2.0
	海域	359	393	0	0.082	0.0091	1.0
公共用 水域 底質	全体	####	####	6	6.4	0.045	510
	河川	####	####	5	5.6	0.045	510
	湖沼	79	80	0	8.4	0.063	36
	海域	303	305	1	9.2	0.11	120
地下水質		922	924	0	0.047	0.0088	0.72
土壌	合計	####	####	3	5.9	0	2,800
	一般環境把握調査	####	####	0	2.0	0	73
	発生源周辺状況把握調査	468	468	3	17	0.00014	2,800

注1：大気、公共用水域(水質、底質)及び地下水質の調査結果における平均値、最小値及び最大値は、各地点の年間平均値の平均値、最小値及び最大値である。

注2：大気については、環境省の定点調査結果及び大気汚染防止法政令市が独自に実施した調査結果を含む。なお、上段は夏期及び冬期を含む年2回以上調査された地点、下段()内は全調査地点の数値である。

注3：公共用水域底質の環境基準超過地点数は、平成17年度において1回でも環境基準値を超過した地点数である。

注4：土壌については、このほかに調査指標確認調査(2区域9地点)及び、範囲確定調査(1区域65地点)が実施された。